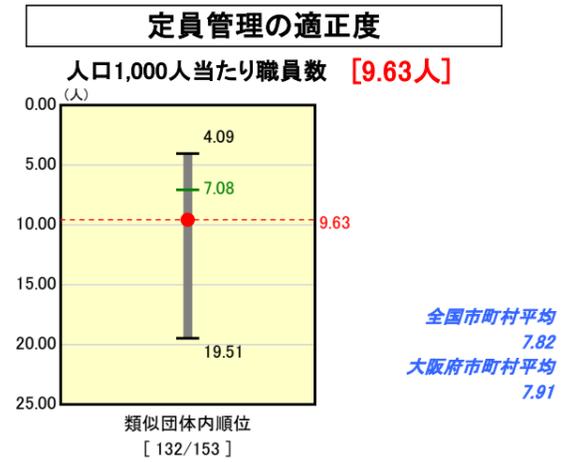
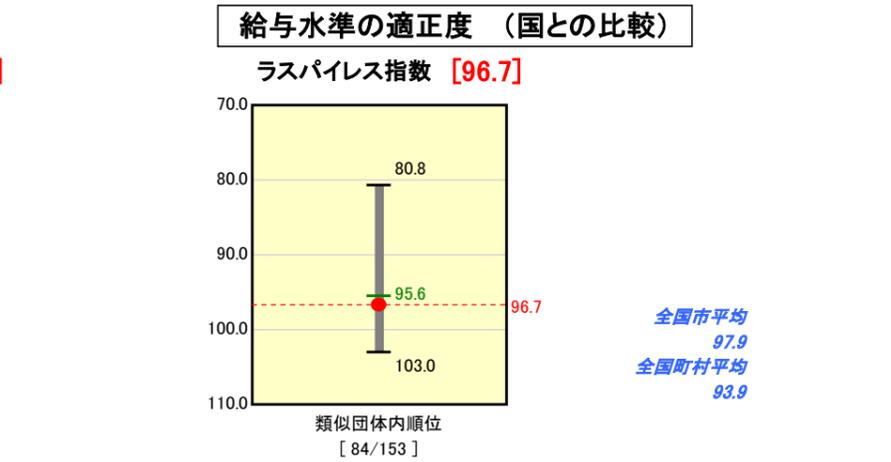
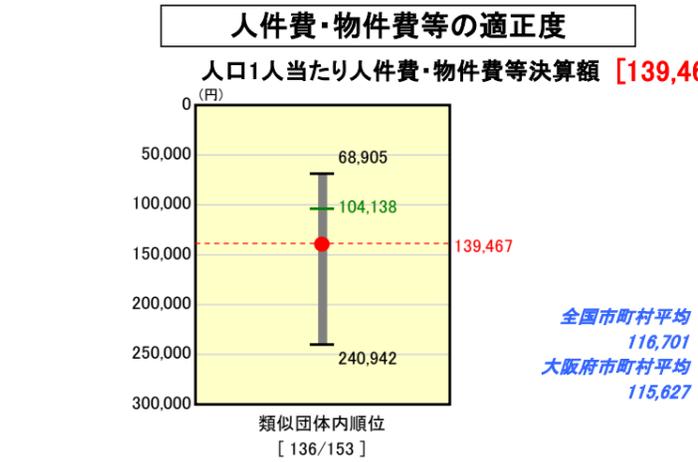
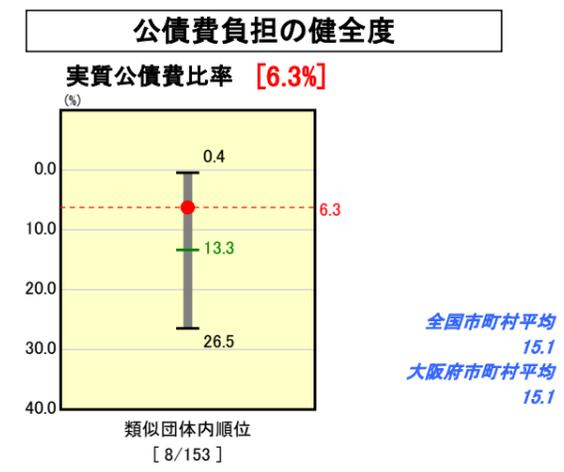
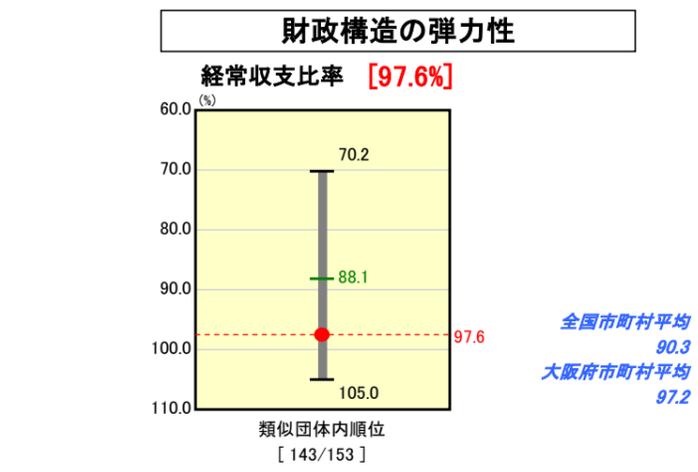
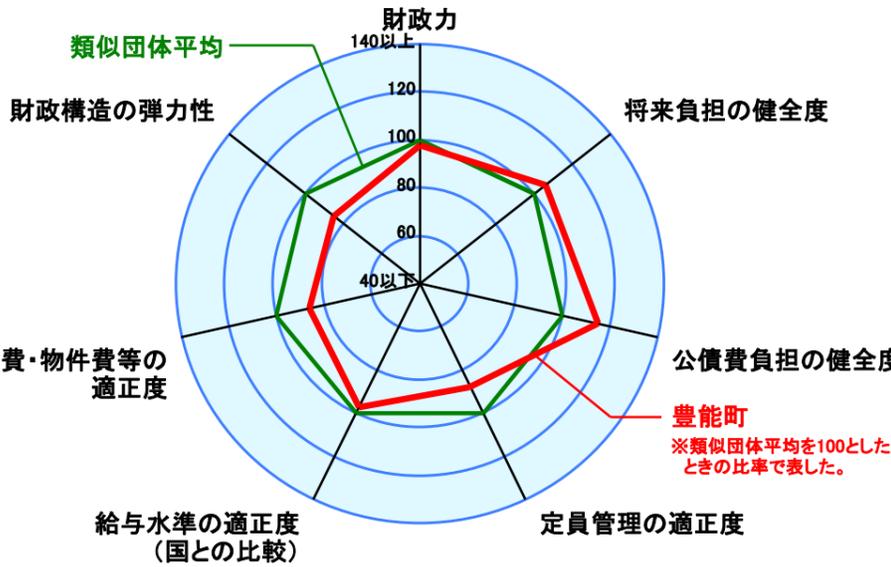
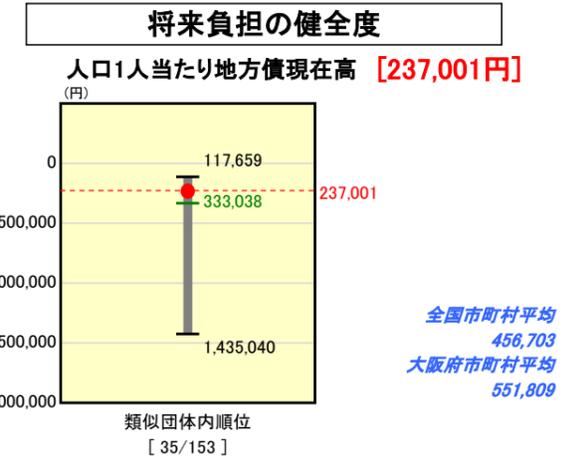
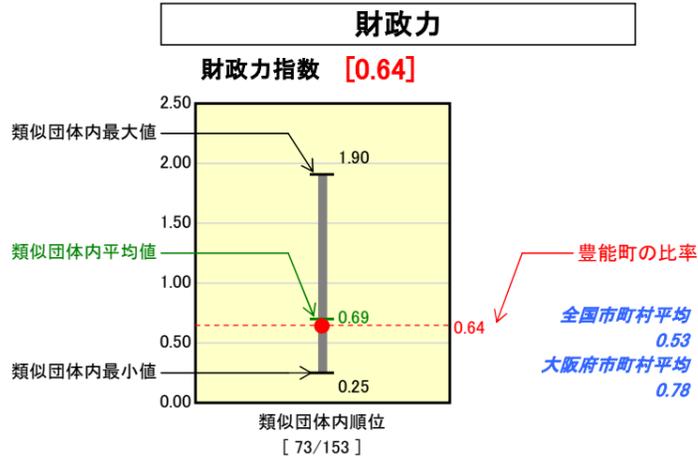


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

大阪府 豊能町

人口	24,510	人(H19.3.31現在)
面積	34.37	km ²
歳入総額	7,966,729	千円
歳出総額	7,741,314	千円
実質収支	153,698	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
人口の減少や高齢化による個人所得の減少等により町税が大幅に減収するなどにより、類似団体平均を若干下回っている。今後、平成18年3月に策定した「新行財政改革推進計画(案)」により、徴税の徴収率の向上に努め確実な収入確保を図るとともに新たな収入確保策の検討を行い、早期の財政健全化を図る。
- 経常収支比率**
豊能町の地理的特性により山地が東西地区を分断していることなどにより、効率的な職員や施設配置が困難であり、類似団体と比較して経常経費が高くなることや、人口の減少や高齢化等による町税の減少、地方交付税改革による交付税の減少などで経常一般財源が大幅に減少し、対前年度1.4%悪化し97.6%となって、類似団体平均を大きく上回っている。平成18年3月に策定した「新行財政改革推進計画(案)」により、抜本的な行財政改革に取り組み、平成18年度から5年間で15名以上の職員削減や給与の見直しによる大幅な人件費の削減、予算シリング、経常的な事務事業の廃止・縮小・統合・再編、使用料・手数料の見直しを実施するなど、経常収支の改善に取り組む。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に豊能町の地理的特性により山地が東西地区を分断していることなどにより、効率的な職員や施設配置が困難であり、人件費や施設の維持管理費が高くなっているのが要因となっている。平成18年3月に策定した「新行財政改革推進計画(案)」により、抜本的な行財政改革に取り組み、平成18年度から5年間で15名以上の職員削減や給与の見直しによる大幅な人件費の削減、予算シリング、経常的な事務事業の廃止・縮小・統合・再編を実施するなど、経費の抑制に努める。
- ラスパイレス指数**「新行財政改革推進計画(案)」において、新給料表の適用、調整手当(10%)の廃止、地域手当(3%)を新設、住宅・通勤手当の国基
- 準への改定等、職員給与について、国基準どおりの見直しを行い、給与水準の適正化を図ったことから、類似団体平均に近づいている。今後も職員の新規採用を最小限に抑制し、指数の適正化に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高**
これまで、交付税措置のない地方債は極力発行しないよう努めてきたことなどにより、類似団体平均を下回っている。今後においても、財政的に有利な地方債を有効活用し、住民負担の平準化と将来の財政負担の適正な水準の維持に努める。
- 実質公債費比率**
これまで、交付税措置のない地方債は極力発行しないよう努めてきたことなどにより、類似団体平均を大きく下回っている。今後においても、財政的に有利な地方債を有効活用し、住民負担の平準化と将来の財政負担の適正水準の維持に努める。
- 人口1,000人当たり職員数**
豊能町の地理的特性により山地が東西地区を分断していることなどにより、効率的な職員や施設配置が困難であったことから、類似団体に比べて職員数が多い主な要因となっている。今後、「新行財政改革推進計画(案)」により平成18年度当初の239人(普通会計ベース)から更に15名以上削減し、220人体制を目指す。